

2022年3月28日

アキュリスファーマ株式会社

報道関係各位

## アキュリスファーマが国内外の投資家から 総額 28 億円のシリーズ B 資金調達を実施

神経・精神疾患領域における革新的な新薬の開発と商業化を推進するアキュリスファーマ株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役社長兼 CEO：綱場 一成、以下「アキュリスファーマ」）は、本日、既存投資家である Vision Pacific LifeSciences Capital I, II (DE) LLC<sup>1</sup>、HBM Healthcare Investments、Global Founders Capital、三井住友トラスト・インベストメント、ANRI に加え、本ラウンドより新たに JIC ベンチャー・グロース・インベストメンツ、三菱 UFJ キャピタル、Spiral Capital を引受先としたシリーズ B ラウンドにおいて、総額 28 億円の資金調達を実施したことをお知らせします。このたびの増資により、累計調達額は 96 億円となりました。

アキュリスファーマの共同創業者、代表取締役社長兼 CEO である綱場 一成は、次のように述べています。「新規抗てんかん薬を含む医療の進歩によって、多くのおてんかん患者さんが発作を心配することなく、日常生活を送ることが出来るようになっていきます<sup>2,3</sup>。その一方で、適切な診断・治療にも関わらず、繰り返すてんかん発作に苦しんでいる患者さんやご家族がいらっしゃる、医療機関の外で発作が起こった際に速やかに治療する手段が依然として求められています。また、発作のコントロールに加えて、てんかんやてんかん発作に対する誤解や偏見の解消、社会的な支援の強化も道半ばにあると考えています。患者さんやご家族が共に安心して暮らせる社会をつくるという私たちの志に賛同して下さった国内および海外の投資家の皆さんからのこの度のご支援に深く感謝します。」

アキュリスファーマは先行して開始している睡眠障害分野での pitolisant の開発・商業化に向けた諸活動に加え、今回シリーズ B で調達した資金をてんかん発作に対する本邦初の経鼻投与スプレー製剤（主成分：ジアゼパム）の臨床開発や上市に向けた諸活動に充当していきます。この薬剤が貢献しうる患者さんに新しい治療手段を早く届けられるよう、日本国内での臨床試験を実施し、開発を進めてまいります。同時に、てんかん発作が患者さん、ご家族の日常生活に及ぼす影響を軽減するための包括的な取り組みとして、急な発作時に迅速に治療薬にアクセスできるコミュニティづくり、AI やデジタルを活用した発作の予測システムなどに関する研究を外部パートナーと連携し、進めてまいります。また、てんかんに関して正しい理解が広まるよう、啓発活動への貢献にも取り組んでまいります。

アキュリスファーマは、神経・精神疾患領域の疾患で苦しんでいる患者さんやご家族、医療関係者、日本社会のために貢献して参ります。当社は、新薬の開発・販売に留まらず、疾患に対する認識の向上、早期診断、個別化治療などの一連のプロセスにおいて、新しいテクノロジーや外部とのパートナ

ーシップを積極的に活用し、包括的なソリューションを提供することを目指します。

<sup>1</sup> キャタリスパシフィックおよび SoftBank Vision Fund 2 が共同保有するジョイントベンチャー

<sup>2</sup> 世界保健機関 (WHO) <https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/epilepsy>

<sup>3</sup> 厚生労働省 [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000070789\\_00008.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000070789_00008.html)

#### ■経鼻投与スプレー製剤（活性成分：ジアゼパム）について

ジアゼパムは注射剤などの剤形でてんかん発作時の治療薬として 60 年以上日本の医療現場で使用されています。また、医療機関外においても患者さんや介護者などの医療関係者以外の方が坐剤として使用してきた薬剤です。経鼻投与スプレー製剤としては、2020 年 1 月に米国において「6 歳以上のてんかん患者における通常の発作パターンとは異なる間欠性の典型的な発作頻発（すなわち、群発発作、急性群発発作）のエピソード」を効果・効能として米国 Neurelis 社が米国食品医薬品局（FDA）の承認を得ています。

#### ■アキュリスファーマ株式会社について

アキュリスファーマ株式会社は“Catalyst to Access”（革新的な医療への橋渡しを担う）という理念から創られた Aculyss を社名とする日本発のバイオベンチャー企業です。神経・精神疾患領域において革新的な医療手段への橋渡し役となり、患者さんご家族、医療関係者、社会により良い医療を届けるため、欧米諸国から革新的で優れた医薬品を導入し、開発・販売を担い、さらに疾患を取り巻くさまざまな課題に対するソリューションを提供します。

会社名：アキュリスファーマ株式会社 [英語名：Aculyss Pharma, Inc.]

所在地：神奈川県藤沢市村岡東二丁目 26 番地の 1

代表者：綱場 一成

設立日：2021 年 1 月

URL：<https://www.aculyss.com>

#### <注意事項>

本リリースに記載されている医薬品に関する情報は当社の経営情報の開示を目的としており、当該医薬品の宣伝・広告を目的とするものではありません。

#### 【報道関係者お問い合わせ先】

アキュリスファーマ広報事務局（株式会社ブレインズ・カンパニー内）

担当：養祖 Tel：03-4580-6124 Mail：[aculyss\\_pr@pjbc.co.jp](mailto:aculyss_pr@pjbc.co.jp)